

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライズ児童デイサービス上永谷		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善に繋げている。	朝礼・昼礼では前日の内容の共有や当日の流れやそれぞれの職員の役割の共有を行っています。 毎月1回の全体ミーティングでは、共有事項の再確認や児童の様子などの意見交換を行っています。 場面に応じて提案や状況説明も行っています。	常勤・非常勤関係なくどんな意見でも話せる(聞ける)環境づくりが大事。全体で言えないことは個別で相談したり、定期的に声掛けをしながら情報収集をする機会を増やしていく。
2	保護者への説明などが適切に行われている。	支援中の緊急的な情報共有は電話やライン等で行い、日々の様子は送迎時の申し送りとして直接お伝えしています。 必要に応じて学校での様子を詳しく知りたい場合(普段と変わった様子がある場合)は保護者の同意を得たうえで連絡共有を行っています。	当日の様子は些細なことでも共有し、保護者の方への説明や申し送りを丁寧に行うことを心がける。良いことより悪いことを先に伝え、質問に迷いなく答えられるような準備も必要になる。答えられない内容は持ち帰り即座に管理者へ共有しその日のうちに返答ができる体制を強化する。
3	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた検討をしている。	事故に繋がらないよう、その日に起きた事案には『どうすれば防ぐことができか』を考え次回以降実践し再発防止に繋がっています。 その場で答えの出ない案件にはいくつか考えられる案を試し、成功事例を作り対応をしています。	同じヒヤリハットが続かないよう、継続的に起こる案件には対策を強化していく必要がある。後回しにせず、検討した内容は速やかに共有し、再発防止に繋がっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムの設定	スキルの違いによる課題設定の考え方や実際の準備等に十分な時間を設けられていないこと。 週ごとにプログラムを設定しており月ごとで重なることはないが、新たなる取り組みへのチャレンジが少ない。	年度の振り返りを行い、好評イベントの継続や新たな取り組みを設定していく。また、調理や外出などは改めて検討し、楽しんで参加できる活動を増やしていく。
2	地域との交流	地域のハロウィンイベントへの参加は毎年できているが、交流できる機会が少ない。	地域のイベントは今まで通り参加する。 イベント以外では事業所付近でのあいさつや買い物などで身近なところから交流できる場面を増やしていきます。
3	保護者会の開催	以前は『茶話会』や『同窓会』を定期的に行っていたが、コロナ禍以降実施できていない。	『茶話会』など、気軽に参加できる会や趣味を楽しめる場の提供を考え、職員と保護者、保護者同士の交流の機会を検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
ライズ児童デイサービス上永谷		2026年3月15日				2026年3月1日 39名	32名	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	ごどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	2	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1	0	0		
	3	生活空間は、ごどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	5	0	3	日直の見やすい位置に時計がほしい。	ご利用されている児童全体での最適を考慮しております。現状での理由は説明をして理解いただけるよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、ごども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	2	1	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	ごどものことを十分に理解し、ごどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	3	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	2	0	1		
	7	ごどものことを十分理解し、ごどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からごどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	3	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	6	2	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のごどもと活動する機会がありますか。	6	3	7	16	特に必要ないと思う。利用中に利用しているごどもたちと関われば十分と思います。児童館や地域のごどもたちとの活動自体ないと感じます。交流は今のところ聞いたことがない。	できる範囲での交流は心がけていきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	7	5	11		
	15	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、ごどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	4	7	19	特に必要ないと思う。保護者同士の交流は支援学校でできているので特に必要と思わない。保護者会を開催してほしい。	ご意見を踏まえ前向きに検討をしていきます。
19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	5	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	3	0	3	これまでそういったことがまだ起こっていないので分かりませんがそうなった際にはきちんと説明してくれると思います。事故がないので分からない。	該当される場合は迅速な対応を心がけておりますが、全体への周知はできていないため、周知方法を改めて検討いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0	それはとてもとてもその通りです。	みなさまに安心して通所していただけるよう、これからも適切な対応を心がけていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	3	0	1	とてもとても楽しみにしています。	全員が楽しみにしていただけるよう、今後の取り組みに反映させていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	2	0	0	他のデイさんも利用したことがありますが上永谷ライズさんはピカイチです！大満足です。イベントなどの料金が低い。外出イベントがもっとあれば良い。	イベント料金は物価高騰によりやむを得ない場合もございますが、適宜見直しを行います。外出イベントは前向きに検討します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ライズ児童デイサービス上永谷		2026年 3月 15日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		必要に応じて配置換えをすることでスペースの有効活用を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童数に合った職員の配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	室内の床はマットで色分けされており子どもたちへの提示も分かりやすくできる。外階段では配慮は必要。	物理的にバリアフリーが難しい箇所（特に外階段）へは、職員が付き添うなど配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔に保たれ過ぎやすいが、洗面所でお湯が出るとより良い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	必要に応じてパーティションを使用。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	月1回の職員会議を行い、業務改善に役立っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	上記同様。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員で話し合える時間はもっとあっても良いが時間が取れない現状。	話し合いの時間は今後も適宜行い、業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者機関ではないが、定期的にチェックをしていただく機会を設けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月1回研修を行っているが、外部研修が増えるとより良い。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページにて公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ミーティング等の内容が反映されていると思う	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	イベントや制作案をそれぞれが考え共有することができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	週ごとにプログラムを変えることで偏りのない工夫を行っています。	固定化しないよう、適宜見直しを行う必要がある。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼・昼礼での情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼での振り返りや情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日記録をとり、検証・改善に繋げています。	些細なことでも記録しておくことが重要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い適切な見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	『自立支援』『生活能力向上』『創作・表現』『地域交流』を組み合わせ支援を行っています。	全職員が「4つの基本活動」を意識した支援ができるよう共通認識を深める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	子どもたちとの関わりの中で意識しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	開催された際は児童発達支援管理責任者および管理者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	適宜行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校との情報共有は送迎時での申し送りや支援会議などで行っています。行事予定などは保護者より共有いただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	8	必要に応じて行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8	求められた場合は行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	地域のハロウィンイベント等に参加しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8	時間的に難しいが午前中であれば参加しています。	送迎や支援時間以外での開催になれば参加しやすいですが、放課後等デイサービスだけではないため時間設定が難しい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	面談での情報共有ができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	共働きのご家族も多く研修等への参加の促しが難しい状況ではあります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	ご契約時行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	ご契約時および半年に1度の面談時に行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	半年に1度の面談時に行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じて行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		開催を希望される声もあるため、興味の持てる内容を考え検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	該当のご家族については行っています。苦情等へは迅速かつ適切に対応しています。	該当ではないご家庭への周知方法は検討していきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	連絡帳ツールやSNSを活用し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	ホームページ等はダブルチェックを行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	地域の開催イベントに参加した際、地域の子どもたちとの交流がある。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		ご家族へのマニュアルの周知方法を見直したいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		上記同様。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	ご契約時に確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	上記同様。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		46、47同様。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった日は共有しその日に改善案を出し翌日以降に実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修の機会を増やし適切な対応を心掛けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			